

りそな 経済フラッシュ

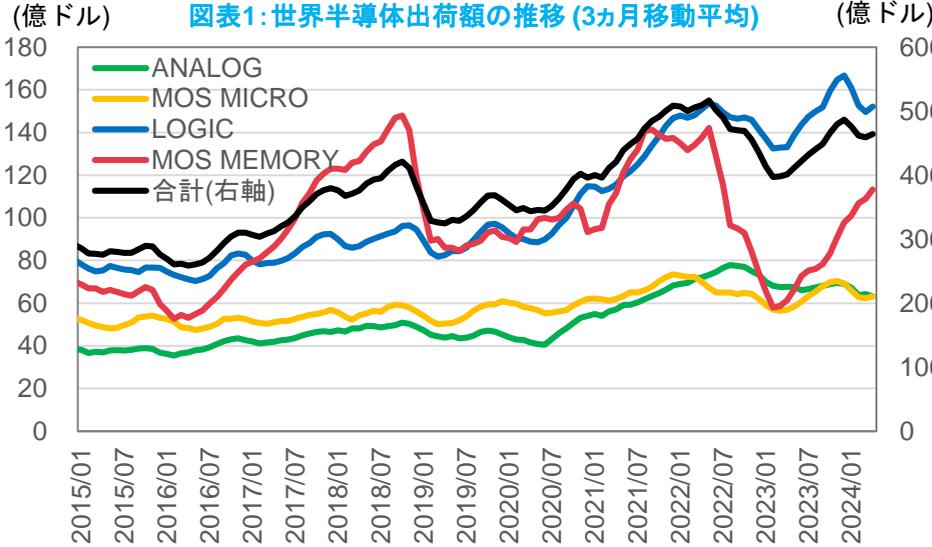
(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月))

◎注意事項をよくお読み下さい

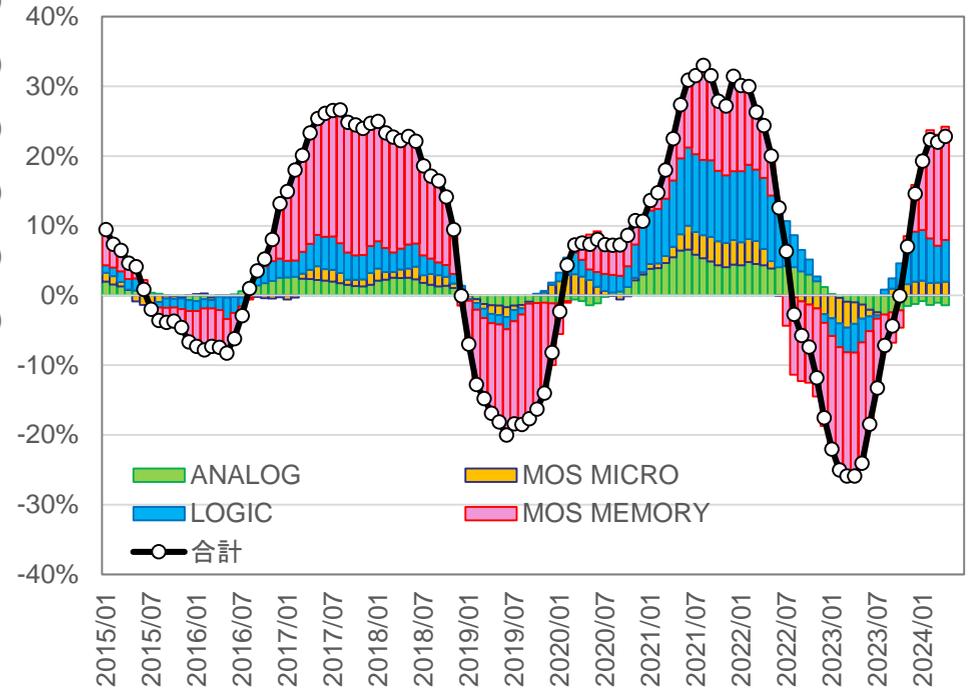


○4月世界半導体出荷額：LOGICの好調とMEMORYの回復が続く

- WSTS(世界半導体市場統計)によると、4月の世界半導体出荷額(振れが大きいいため3ヵ月移動平均値)は、前年比+22.8%(前月：+20.8%)と前月から伸びが加速した(図表1~2)。主な種類別の動向をみると、LOGICが引き続き好調で前年比+14.3%(前月+12.5%)、MEMORYは昨年3月を底とする回復傾向が継続し、前年比+84.6%(前月+85.6%)となった。
- AIへの注目が集まる中、その恩恵を受けやすいLOGICやMEMORYの好調が目立った。また、これまで出荷額はAI関連の高単価品が単価を押し上げることで増加してきたが、足元で数量面に底打ち感が出てきている点はポジティブである。AI関連以外の半導体も回復基調が鮮明となれば、情報技術関連以外の業種へも好循環が波及していくだろう。



図表2: 世界半導体出荷額 (YoY, 3ヵ月移動平均)



種類	用途	主な製品
ANALOG	光や音、温度などの数値化されていない電気信号の処理・制御	スマホ テレビ
LOGIC	データ処理・機器の制御	スマホ パソコン
MEMORY	データの保存	スマホ パソコン
MICRO	データの演算・制御	パソコン 家電

注: ICのみ集計 出所: WSTS

◎注意事項
当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月))

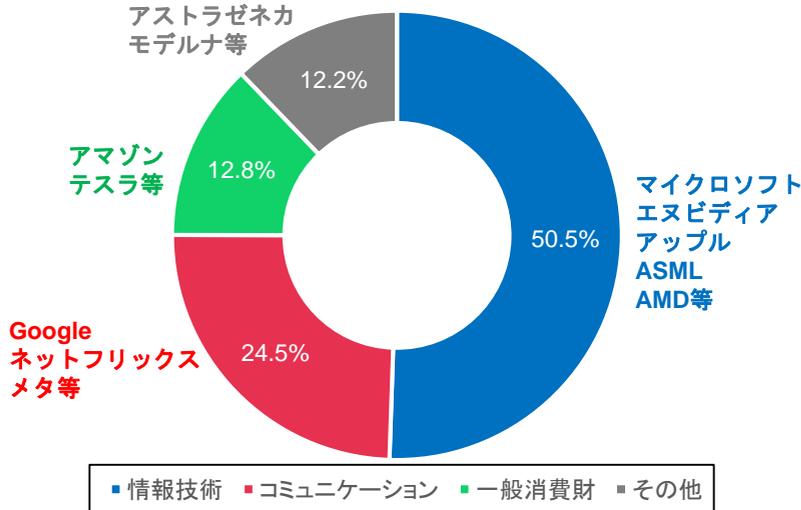
◎注意事項をよくお読み下さい



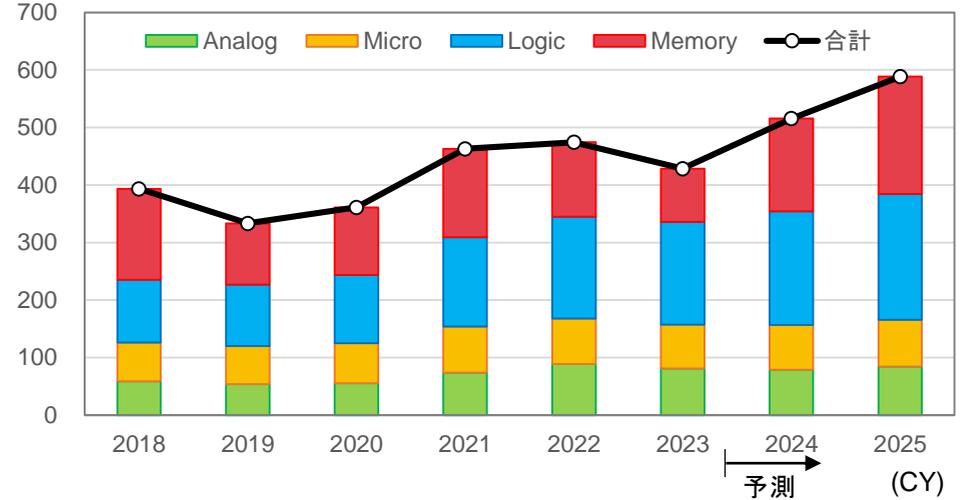
○中期半導体市場予測を用いた米ハイテク株の展望

- 図表3に、米国の主要ハイテク株指数であるNASDAQ100の業種別構成比(時価総額対比)を示した。情報技術が過半を占めるが、便宜上、Googleやメタ等はコミュニケーション、アマゾン是一般消費財に分類されているため、広い意味でITに関連した業態の企業は数値以上に多いとみてよいだろう。
- WSTSは、2025年までの世界半導体出荷額の見通しを公表した(図表4)。NASDAQ100の前年比は、世界半導体出荷額の前年比と概ね連動する為(図表5)、WSTSの見通しを用いて先行きの予測を試みた。
- WSTSの半導体市場の成長率に基づくと、NASDAQ 100は、2024年末に20,000pt、2025年末に24,000ptが視野に入ると試算された。ただし、足元で、AI関連を中心に、半導体市況の回復を待たずに株価が上昇している可能性がある点は留意する必要があるだろう。

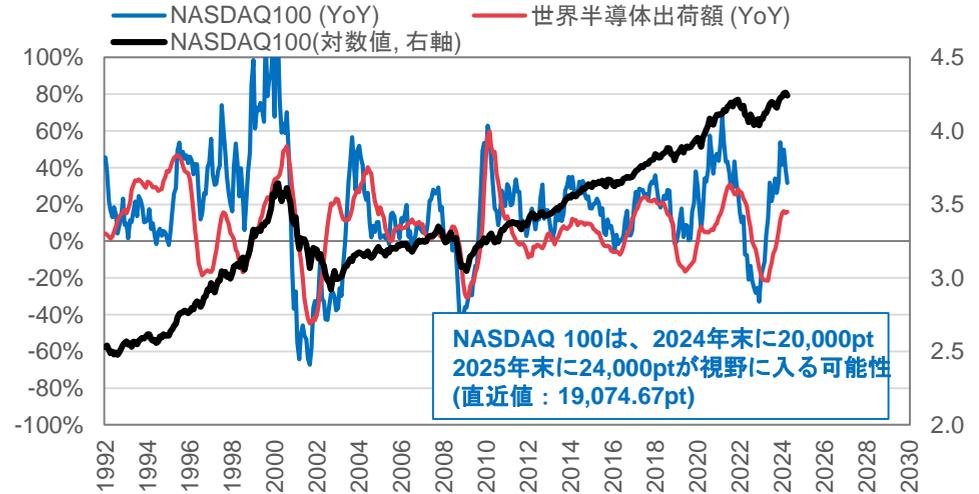
図表3: NASDAQ100の業種別構成比 (時価総額対比)



(10億ドル) 図表4: 世界の半導体出荷額の種別市場予測



図表5: NASDAQ100と世界半導体出荷額の前年比推移



注: ICのみ集計 出所: WSTS, Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月))

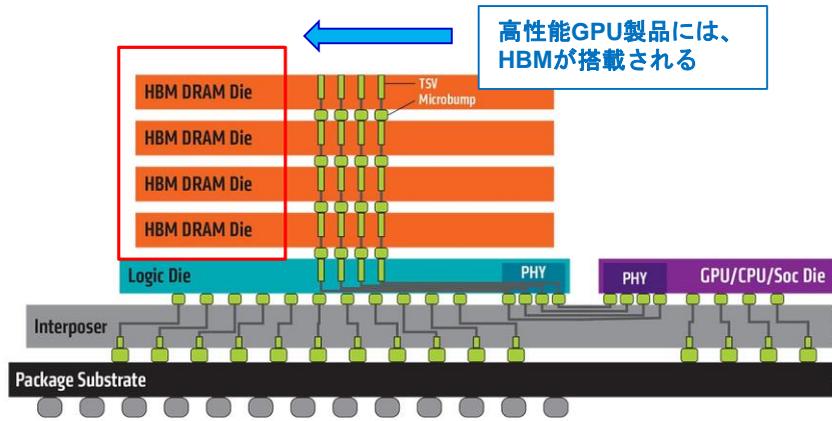
◎注意事項をよくお読み下さい



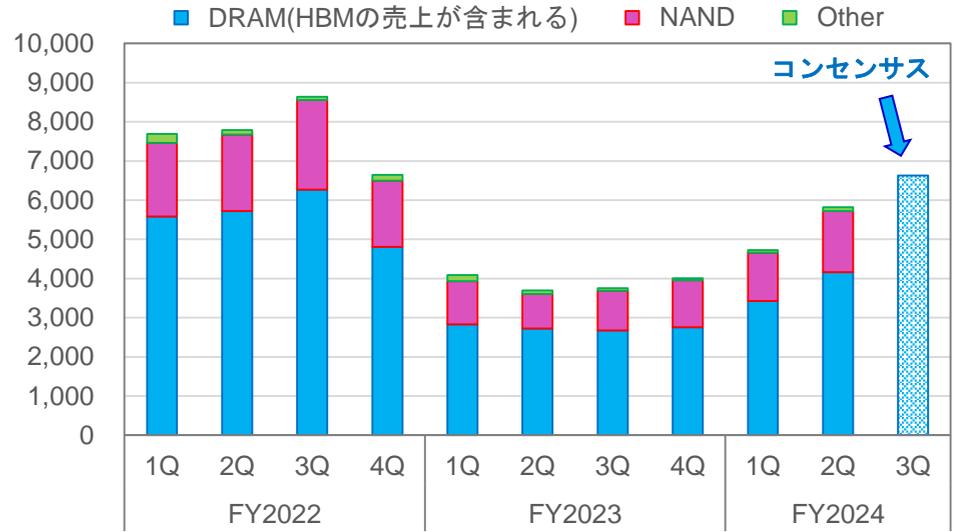
○今後の注目ポイント：米マイクロンの決算

- 6/26に、マイクロン・テクノロジーが決算発表予定である。同社は、半導体メモリの開発・製造・販売を行っており、ナスダック100にも採用される等、米国を代表するハイテク企業である。
- 昨今のAIブームの火付け役であるエヌビディアをはじめとして、データセンター向けの高性能GPU製品には、HBMと呼ばれる高性能メモリが搭載されている。参考までに図表6に、米AMDのGPU製品に関する図解資料を示した。HBM市場は韓国のSKハイニックス、サムスン電子、同社で占められており、同社の決算はAI関連銘柄の先行きを占う上で重要なイベントであると考えている。
- 同社は前回の決算説明会において、2024年分のHBMは既に完売しており、2025年に供給する分も大多数が既に割り当て済みだと説明している。また、直近では、6/5に、エヌビディアのJen-Hsun Huang CEOが、サムスン電子と米マイクロンが提供するHBMを精査していると語ったことが報じられている。
- 着地は堅調となる公算が大きいが、業績見通しに関するアップデートの他、設備投資計画等、新たな材料が示されるか注目したい。

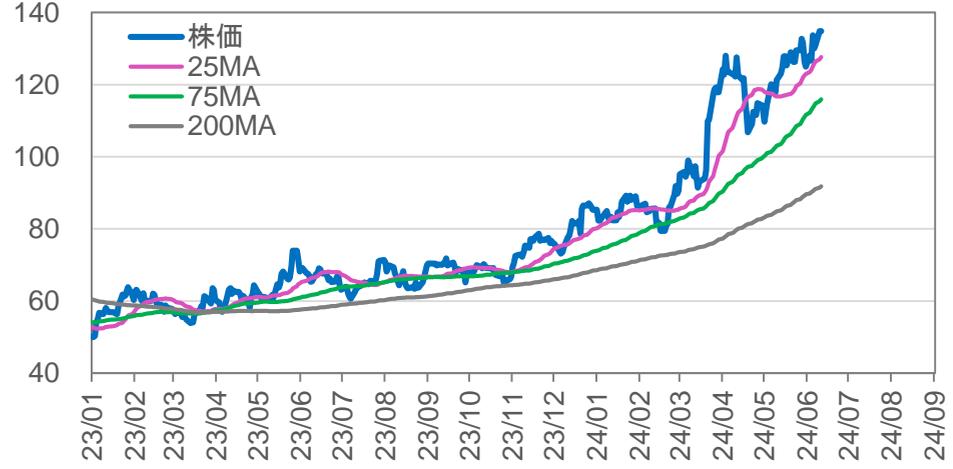
図表6：米AMDのGPU製品に関する資料



(百万USD) 図表7：マイクロン・テクノロジーの売上高推移



(USD) 図表8：マイクロン・テクノロジーの株価



出所：米AMD Financial Analyst Meeting資料, Bloomberg

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。

◎注意事項をよくお読み下さい



りそな 経済フラッシュ

(日米欧 Market View : 半導体市場 Monthly (2024年6月))

■バックナンバー

No	発行日	テーマ	タイトル
1	2024/4/2	米国経済, 米国株	日米 Market View : 3月ISM製造業景況感指数
2	2024/4/5	日本株	日米Market View : 日本株需給
3	2024/4/12	日本株	日米Market View : 日本株需給
4	2024/4/19	日本株	日米Market View : 日本株需給
5	2024/4/22	米国株	日米Market View : シリコンサイクルから見る米ハイテク株の展望
6	2024/4/23	日本株	日米Market View : 日本株バリュエーション
7	2024/4/26	日本株	日米Market View : 日本株需給
8	2024/5/2	米国経済	日米Market View : 5月FOMC
9	2024/5/7	米国経済, 米国株	日米Market View : 米国のAIブームはITバブルと同じ末路を辿るのか？
10	2024/5/13	日本株	日米Market View : 日本株需給
11	2024/5/13	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～日経CPINow
12	2024/5/16	日本株	日米Market View : 3月決算企業の本決算と日本株への影響
13	2024/5/17	日本株	日米Market View : 日本株需給
14	2024/5/20	日本株	日米Market View : TOPIX採用企業の株主還元
15	2024/5/21	日本経済	日米Market View : オルタナティブデータの活用～HRog賃金Now
16	2024/5/23	米国株	日米Market View : エヌビディアの決算とマーケットへの影響
17	2024/5/24	日本株	日米Market View : 日本株需給
18	2024/5/30	日本株	日米 Market View : セクター動向
19	2024/5/30	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏賃金動向
20	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株需給
21	2024/5/31	日本株	日米欧 Market View : 日本株バリュエーション～日本株の妥当レンジを試算
22	2024/6/4	欧州経済	日米欧 Market View : ユーロ圏物価動向
23	2024/6/10	米国経済	日米欧 Market View : 5月雇用統計

◎注意事項

当資料に記載された情報は信頼に足る情報源から得たデータ等に基づいて作成しておりますが、その内容については明示されていると否とにかかわらず、弊社がその正確性、確実性を保証するものではありません。また、ここに記載された内容が事前の連絡なしに変更されることもあります。また、当資料は情報提供を目的としており、金融商品等の売買を勧誘するものではありません。取引時期などの最終決定はお客様ご自身の判断でなされるようお願い致します。

お問い合わせは、取引店の担当者までご連絡ください。